



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,207	23.2	196	29.7	194	22.9	186	16.2
26年3月期第1四半期	2,603	12.2	151	554.7	158	—	160	612.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 164百万円(0.7%) 26年3月期第1四半期 163百万円(584.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	11.04	10.66
26年3月期第1四半期	9.68	9.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,801	7,265	45.6
26年3月期	10,774	7,261	66.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,207百万円 26年3月期 7,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	19.5	80	△54.7	47	△77.6	23	△93.6	1.36
通期	14,000	8.5	740	42.3	650	4.5	400	△55.0	23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	22,806,900株	26年3月期	22,806,900株	
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	5,943,710株	26年3月期	5,943,710株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	16,863,190株	26年3月期1Q	16,547,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みもありましたが、政府の経済対策、金融政策等による円安基調により、全体的に緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国やASEAN諸国においては成長率の鈍化が見られますが、当社グループの主要マーケットについては、大型FPDパネル及びスマートフォン、タブレット端末等の設備投資需要が活発に推移しております。このような経済環境の中、当社グループにおいては、LEDランプの品揃え・拡販、配向膜製造装置及びタッチパネル製造装置の拡販、更には人材派遣分野では、当社グループに統合された2社の本格稼働による事業拡大に尽力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ6億4百万円(23.2%)増収の32億7百万円となり、営業利益は45百万円(29.7%)増の1億96百万円、経常利益は36百万円(22.9%)増の1億94百万円、四半期純利益は25百万円(16.2%)増の1億86百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。また、当第1四半期連結会計期間より、従来の「人材派遣事業」を「人材サービス事業」にセグメント名称を変更しております。当該セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ①ランプ事業

プロジェクター用ランプにつきましては、交換ランプの拡販に注力、販売を伸ばしておりますが、製造用ランプにつきましては、プロジェクターの開発時期との兼ね合いでまだ時間がかかり、売上高は前年同期比15.0%減の2億77百万円となりました。一般照明ランプにつきましては、節電意識も根付くとともに、LEDランプの販売が順調に伸びてきており、ハロゲンランプ等従来ランプについての暫減傾向をカバーし、前年同期比0.3%増の3億92百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比6.5%減の9億17百万円となりました。

#### ②製造装置事業

製造装置事業につきましては、従来からの大型FPDパネル用の配向膜製造装置の需要増に加え、新規分野、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置の受注が順調に推移しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比44.7%増の12億18百万円となりました。

#### ③検査装置事業

検査装置事業につきましては、S-Light(検査装置用光源装置)の販売を展開、UV露光装置の受注にも積極的に対応しております。またスマートフォン、タブレット端末液晶及びタッチパネル製造用の外観検査装置を開発し、拡販に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比18.1%減の3億30百万円となりました。

#### ④人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図っております。前期統合いたしました株式会社関西技研(平成25年10月に当社子会社の株式会社日本技術センターに吸収合併)、株式会社テクノ・プロバイダーの業績が寄与し、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は前年同期比85.2%増の7億60百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ50億96百万円増加し、130億64百万円となりました。その主な要因は、前渡金が49億59百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、27億37百万円となりました。その主な要因は、減価償却等により、有形固定資産が39百万円及び無形固定資産が10百万円それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ50億26百万円増加（46.7%増）し、158億1百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ46億88百万円増加し、75億13百万円となりました。その主な要因は、資金の借入により短期借入金が33億円、前受金が12億12百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加し、10億23百万円となりました。その主な要因は、資金の借入により長期借入金が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ50億23百万円増加（143.0%増）し、85億36百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、72億65百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を1億68百万円行った一方、四半期純利益が1億86百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の資産及び負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ21.3ポイント低下し、45.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,663,626	2,827,821
受取手形及び売掛金	3,330,329	3,134,801
商品及び製品	294,323	269,426
仕掛品	888,839	1,013,017
原材料及び貯蔵品	427,093	478,726
前渡金	54,354	5,013,555
その他	323,883	338,134
貸倒引当金	△14,870	△11,186
流動資産合計	7,967,579	13,064,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	872,556	856,030
土地	864,166	864,166
その他(純額)	456,701	434,154
有形固定資産合計	2,193,425	2,154,351
無形固定資産		
のれん	96,049	90,713
その他	66,701	62,034
無形固定資産合計	162,751	152,748
投資その他の資産		
その他	493,008	473,057
貸倒引当金	△41,883	△42,589
投資その他の資産合計	451,125	430,467
固定資産合計	2,807,301	2,737,568
資産合計	10,774,881	15,801,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420,573	1,384,996
短期借入金	300,000	3,600,000
1年内返済予定の長期借入金	238,400	296,996
未払法人税等	52,801	31,722
前受金	69,037	1,281,200
賞与引当金	228,752	153,476
製品保証引当金	14,874	16,481
工事損失引当金	13,547	20,394
その他	486,285	727,886
流動負債合計	2,824,272	7,513,155
固定負債		
長期借入金	457,500	819,171
繰延税金負債	110,063	78,634
その他	121,101	125,838
固定負債合計	688,665	1,023,644
負債合計	3,512,937	8,536,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	3,915,586	3,933,084
自己株式	△1,488,365	△1,488,365
株主資本合計	7,124,265	7,141,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,888	65,256
その他の包括利益累計額合計	86,888	65,256
新株予約権	50,791	58,045
純資産合計	7,261,944	7,265,065
負債純資産合計	10,774,881	15,801,865

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,603,042	3,207,659
売上原価	1,773,087	2,281,259
売上総利益	829,955	926,400
販売費及び一般管理費	678,486	729,888
営業利益	151,468	196,511
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	3,680	4,782
負ののれん償却額	10,038	10,038
貸倒引当金戻入額	1,190	3,880
雑収入	9,019	5,119
営業外収益合計	23,941	23,832
営業外費用		
支払利息	1,837	14,500
為替差損	—	10,857
シンジケートローン手数料	13,934	—
雑損失	1,003	52
営業外費用合計	16,775	25,410
経常利益	158,634	194,934
税金等調整前四半期純利益	158,634	194,934
法人税、住民税及び事業税	27,398	48,205
法人税等調整額	△28,964	△39,401
法人税等合計	△1,565	8,803
少数株主損益調整前四半期純利益	160,200	186,130
四半期純利益	160,200	186,130



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,200	186,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,151	△21,631
その他の包括利益合計	3,151	△21,631
四半期包括利益	163,351	164,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,351	164,498
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	964,606	842,273	401,250	394,911	2,603,042	—	2,603,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,383	—	2,821	15,922	36,127	△36,127	—
計	981,990	842,273	404,072	410,833	2,639,169	△36,127	2,603,042
セグメント利益	79,217	118,371	58,916	10,508	267,013	△115,544	151,468

(注) 1 セグメント利益の調整額△115,544千円には、セグメント間取引消去△4,282千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,262千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材 サービス 事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	911,981	1,218,915	324,062	752,699	3,207,659	—	3,207,659
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,874	—	6,933	8,294	21,102	△21,102	—
計	917,856	1,218,915	330,995	760,994	3,228,762	△21,102	3,207,659
セグメント利益	30,233	186,357	31,989	41,094	289,675	△93,163	196,511

(注) 1 セグメント利益の調整額△93,163千円には、セグメント間取引消去6,673千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△99,837千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当第1四半期連結会計期間より、従来の「人材派遣事業」を「人材サービス事業」にセグメント名称を変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の名称を用いて表示しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「ランプ事業」に含まれていた事業の一部を「検査装置事業」に移管しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。